

08881-K9000
K9001
K9002
K9003
K9006

1/7

UV レジン液 QC60, 旭エンジニアリング株式会社, 2570001, 2016/05/25

作成日: 2016年05月25日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: UVレジン液 QC60

製品番号(SDS NO): 2570001

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: フロントガラスの補修

供給者情報詳細

供給者: 旭エンジニアリング株式会社

住所: 大阪府大阪市福島区鷺洲4-4-3

担当部署: 管理部

電話番号: 06-6452-5811

FAX: 06-6452-5770

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 1

皮膚感作性: 区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 2

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2

環境有害性

水生環境有害性(急性): 区分 2

水生環境有害性(長期間): 区分 3

(注)記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

皮膚刺激

重篤な眼の損傷

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

臓器の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

水生生物に毒性

長期継続的影響によって水生生物に有害

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：

混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
アクリル酸イソボルニル	50 - 60	5888-33-5	-
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	20 - 30	868-77-9	2-1044
アクリル酸	1 - 10	79-10-7	2-984
シランカップリング剤	1 - 10	非公開	-

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

アクリル酸

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

アクリル酸

化管法「指定化学物質」該当成分

アクリル酸

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

不適切な消火剤

噴流水を消火に用いてはならない。

特有の危険有害性

燃焼の際に有毒な炭素酸化物を生成する。

消火を行う者への勧告

消火を行う者の保護

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

関係者以外は近づけない。

換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。

適切な保護具を着用する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

二次災害の防止策

安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

安全取扱注意事項

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会関連許容濃度データなし

(アクリル酸)

ACGIH(1986) TWA: 2ppm (上気道刺激)

注釈(症状、摂取経路など)

(アクリル酸)

皮膚吸収

ばく露防止

設備対策

排気/換気設備を設ける。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。推奨材質: 非浸透性もしくは耐化学品ゴム

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状：液体

色：無色透明

臭い：特有臭

引火点：101°C

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

避けるべき条件

光、熱、炎、火気

混触危険物質

強酸、強塩基、強酸化性物質、アミン類、脱酸素剤、チオ硫酸塩

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、窒素酸化物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(アクリル酸)

rat LD50=340, 1250 mg/kg (ACGIH 7th, 2001)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(アクリル酸)

rabbit LD50=295 mg/kg (EHC 191, 1997)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(アクリル酸)

vapor : rat LC50=1221 ppm/4hr (EHC 191, 1997)

労働基準法: 疾病化学物質

メタクリル酸2-ヒドロキシエチル

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

(アクリル酸)

ラビット/ヒト 腐食性 (EU-RAR, 2002; ECETOC JAGC, 1995)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(アクリル酸)

ラビット 強い刺激性 (NITE初期リスク評価書, 2008et al)

(メタクリル酸2-ヒドロキシエチル)

ラビット 角膜の潰瘍15日目に回復 (SIDS, access on 7. 2008)

感作性

感作性[厚労省局長通達]

メタクリル酸2-ヒドロキシエチル

皮膚感作性

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸2-ヒドロキシエチル) cat.1; SIDS, 2008

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

(アクリル酸)

IARC-Gr.3: ヒトに対する発がん性については分類できない

(アクリル酸)

ACGIH-A4(1986): ヒト発がん性因子として分類できない

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(アクリル酸) 呼吸器、腎臓 (EU-RAR, 2002; NITE初期リスク評価書, 2008)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

(アクリル酸) 肝臓 (EU-RAR, 2002; NITE初期リスク評価書, 2008)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(アクリル酸) 呼吸器 (厚労省委託がん原性試験報告, Access on June 2014)

吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に毒性

長期継続的影響により水生生物に有害

水生毒性(急性)成分データ

[日本公表根拠データ]

(アクリル酸)

藻類(セネデスムス) ErC50=0.13mg/L/72hr (EU-RAR, 2002; EHC 191, 1997)

(メタクリル酸2-ヒドロキシエチル)

藻類(Pseudokirchn eriella subcapitata)ErC50=710mg/L/72hr, 甲殻類(オオミジンコ) EC50=380

mg/L/48hr, 魚類(メダカ)LC50>100mg/L/96hr(環境省生態影響試験, 1996)

水生毒性(長期間)成分データ

[日本公表根拠データ]

(アクリル酸)

藻類(セネデスムス)NOEC= 0.016 mg/L/72hr (NITE 初期リスク評価書, 2008; EU-RAR, 2002)

水溶解度

(アクリル酸)

混和する (ICSC, 2013)

残留性・分解性

(アクリル酸)

BODによる分解度: 67.8% (既存点検, 1975)

生体蓄積性

(メタクリル酸2-ヒドロキシエチル)

log Pow=0.42 (ICSC, 2008)

(アクリル酸)

log Pow=0.35 (PHYSPROP Database, 2009)

土壤中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Y類)

アクリル酸

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機溶剤等に該当しない製品

名称表示危険/有害物(令18条)

アクリル酸

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

アクリル酸(区分内番号2)

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

アクリル酸(4.99%)(1-004)

消防法

第4類 引火性液体第3石油類 危険等級 III

化審法

優先評価化学物質

アクリル酸(政令番号94 人健康影響/生態影響)

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

水質汚濁防止法

指定物質

アクリル酸

法令番号 10

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2015 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

GESTIS-Stoffdatenbank

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成26年度)です。